

化学実験安全守則

フラッシュクロマトカラムを窒素ガスで加圧時に、カラムが破損しけがをする事故がありました。以下の注意を守って実験を行うこと。

- 1. ガラス器具を加圧するな。**
加圧してよいのは耐圧ガラス器具のみで、0.5 MPa(5 kg/cm²)程度まで。
その器具には、飛散防止用のフィルムが貼ってある。
- 2. ガスのバルブの機能を理解して使え。**
圧力調整できるものと、流量調整しかできないものがある。
流量調整用バルブは、密閉空間に接続すると元圧がかかる。
- 3. 器具は使用前に破損状態をチェックせよ。**
光にかざして、きず、ひびをチェックする習慣がない実験者は、周囲に被害を及ぼす可能性がある。
- 4. 開始前に装置の設置に不備がないか確認せよ。**
心の中で、指差確認。
- 5. 事故を想定せよ。**
作業により起こりうる事故を全て洗い出して、危険を予知する。
- 6. 想定した事故に備えて、防御体制を取れ。**